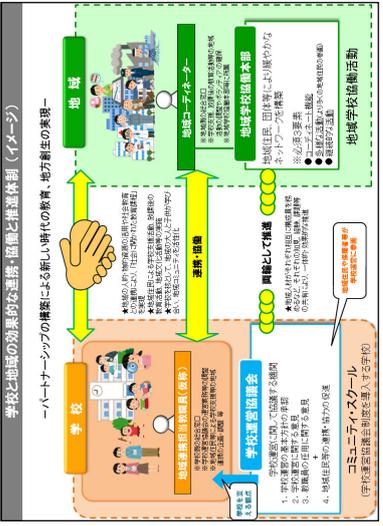


地域コミュニティの衰退や子供の問題行動等 学校・地域の差し追った社会的・地域的な課題に対し、首長部局や関係機関等との協働体制を確立し、課題解決に向けて取り組む新たな学校モデルを構築・発信する事業です。全国で12地域が指定されています。

本校では、学校を取り巻く様々な団体や組織との連携によるコミュニティ・スクールを核とした学校支援組織体制の整備とコンテンツづくり、各学校において特色ある学校を創造するカリキュラム・マネジメントを展開するための取組を中心に研究を行っています。



コミュニティ・スクールは、学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める仕組みです。

学校運営協議会の主な役割として、
 ・校長の作成する学校運営の基本方針を承認する
 ・「学校運営に関する意見を教育委員会に意見が述べられる」の3つがあり、これらを通じて、保護者や地域の皆さんの意見を学校運営に反映させることができ、自分たちの力で学校をより良いものにしていくという意識が高まり、継続的・持続的に「地域とともにある、特色ある学校づくり」を進めることができます。

コミュニティ・スクールの取組で広がる魅力

子供に とつての魅力	<ul style="list-style-type: none"> 子供たちの学びや成長の機会が広がります。 自己表現や他者と関わりあう機会が増えます。 地域の風土や文化を体験し、愛着が湧きます。 防犯、防災等の啓蒙によって安心、安全な生活ができます。
教職員に とつての魅力	<ul style="list-style-type: none"> 地域の人の心や個性が広がることで新たな学びが実現します。 地域の中で子供たちと関わりあう機会が増えます。 地域の魅力がより多く子供たちに伝わりやすくなります。
保護者に とつての魅力	<ul style="list-style-type: none"> 学校の活動に対する関心が高まります。 保護者同士や地域の人々との人間関係の構築ができます。
地域の人々に とつての魅力	<ul style="list-style-type: none"> 経験を生かすことで生きがいや自己実現につながる可能性があります。 学校が社会のつながり、地域のよきことなれます。 学校を中心とした地域ネットワークが形成されます。 地域の防災・防犯体制が構築されます。

浅井中学校区では 地域とともにある学校づくりに 取り組んでいます

長浜市では、市内すべての学校とともにコミュニティ・スクールに指定し、地域とともにある学校づくりに取り組んでいます。コミュニティ・スクールは、学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める仕組みです。

みなさんの思いを反映できるように様々な場面でのご協力をお願いします。



浅井小学校 田根小学校
七尾小学校 湯田小学校
浅井中学校

今年度の主な事業

1. 学校運営協議会
2. 各種事業への参画 (授業参観・運動会・地域学習・授業支援)
3. 研修会等
 - ①7/25 The熱議 浅井・高月B学校運営協議会委員
 - ②8/1 文科科学省コミュニティ・マイスター 高木和久様
 - ③8/1 長浜市学校運営協議会代表者会
 - ④12/5 文科科学省コミュニティ・マイスター 四柳千夏子様
 - ⑤12/5 長浜市学校運営協議会代表者会
 - ⑥1/29 文科科学省コミュニティ・マイスター 風岡治様
 - ⑦1/29 高月B運営協議会委員・教職員・市内事務職員合同研修会
 - ⑧講師 文科科学省コミュニティ・マイスター 四柳千夏子様
 - ⑨先遣地・コミュニティ・スクール・フォーラム等への参加
 - 4. 浅井ブロードバンドの取り組み
 - ①学校ガイドブックの企画・編集・発行
 - ②校区カレンダー発行
 - ③安全マップ企画・編集・発行
 - ④各学校運営協議会への事業説明
 - ⑤学校事務共同実施での地域連携支援



7/25 The「熱議」の様子

学校と地域の人々が

信頼関係を深めるために・・・

浅井・高月ブロックの学校運営協議会の方々と熟議をしました。参加者が当事者意識を持ち、課題や問題意識を共有し、具体的な解決策について議論を進めました。課題を整理すると次のような図にまとめることができました。今後、学校だけではなく、子どもたちを地域の人々が見守り、育てていくために、県や市の行政機関や地域の様々な団体との連携を密に作り組んでいくことが必要です。

熟議

熟議 「浅井(高月)の子どもたちをよりよくするにはどうすればよいか」

学力向上



夏季休業中の補充学習には運営協議会メンバー以外の地域ボランティアの協力もあり、個別学習の指導に多く関わることができ、学力向上への取り組みをすすめることができました。

基礎的な学力向上
学習意欲の低下
コミュニケーション能力不足
教育内容の見直し
あいさつの徹底
自力解決力の向上

地域とのつながりが希薄
地域の行事への関わりが少ない
地域防災の拠点
地域と連携した防災教育
少子化



過保護・放任
課題の複雑化
家庭状況の複雑化
家庭の学校依存
PTA活動へ関心不足

学校間の温度差
ボランティアの高齢化
学運協の目標設定
教職員との共通認識不足
情報提供不足
謝礼等の財源不足

学習支援活動



授業への協力などを通じた学習支援活動もたくさんの方々に協力をお願いできるようになってきました。支援していただく大人にとっては、子どもの学習の様子を間近で見ることも大きなメリットとして感じてもらうことができる。「できることを、できるときに、できるときから」の合い言葉の元、多くの地域の人の協力を得て、教育活動を広めていく。

地域安全



地域の防犯や児童の安全について、地域と情報を共有できるよう、親子で調べた安全マップの作成と配布。(PTAと連携した取り組み)

マネジメント

地域学習



土曜授業の中心として、「ふくらの森」や「草野川」、地域にある様々な歴史・文化・伝統などを「地域教材」として、子どもたちの学習に活かしていきます。指導計画や支援体制の整備も企画段階からたくさん地域の人に参画をいただいで、取り組んでいく。

また、地域への愛着、誇り、課題を発見し解決できる力の育成、将来への明確な目標設定、子どもや子どもを育む地域、地域の将来像と目標を地域の人たちと共有し、地域の多様な資源を活かした質の高い課題解決型教育の実現に取り組んでいく。

将来地域を支えていく子どもたちの教育を、学校とともに「地域の子どもは、地域で育てる」の気概をもてるような地域づくりへも取り組んでいく。

自然観察会



身近な自然について、学校の持っている様々な資源を地域へ還元し、地域の人とともに学ぶ取り組みをすすめていく。(統合した校舎を使っている観察会なども実施し、地域との結びつきをより身近なものにしていく。)

ポータル・月食・流星観察会

地域連携を進める大切な観点

学校と地域の人々が相互理解や信頼関係を深めるために

<地域とともにある学校の運営において大切な視点>

- ① 関係者が当事者意識をもって「熟議(熟慮と議論)」を重ねること
- ② 学校と地域の人々が「協働」して活動すること
- ③ 学校が組織として力を発揮するための「マネジメント」

熟議

関係者がみな当事者意識を持ち、子供たちがどのような課題を抱えているのかという課題を共有するとともに、地域とのような子株を育てていくのか、何を重視していくのかという目標・ビジョンを共有するために「熟議(熟慮と議論)」を重ねることが大切です。

協働

学校と地域の信頼関係の基礎を構築した上で、学校運営に地域の人々が「参画」し、共有した目標に向かってともに「協働」して活動していくことが大切です。

マネジメント

その中核となる学校は、校長のリーダーシップのもと教職員全体がチームとして力を発揮できるように、組織としての「マネジメント」力を強化していくことが大切です。